

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年11月14日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社ワオ・コーポレーション
【英訳名】	WAO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 社長執行役員 西澤 昭男
【本店の所在の場所】	大阪市北区中崎西2丁目6番17号
【電話番号】	06 - 6377 - 7971（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 副社長執行役員 大西 雄三
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区中崎西2丁目6番17号
【電話番号】	06 - 6377 - 7971（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 副社長執行役員 大西 雄三
【縦覧に供する場所】	東京本社 （東京都杉並区阿佐谷南2丁目14番4号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期連結 累計期間	第38期 第2四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	8,167,118	8,064,791	16,710,472
経常利益(千円)	98,391	213,065	332,696
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失()(千円)	434,544	175,750	396,388
四半期包括利益又は包括利益(千円)	435,619	175,958	397,315
純資産額(千円)	2,450,016	2,639,781	2,488,312
総資産額(千円)	9,208,946	8,897,271	10,030,983
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円)	53.23	21.53	48.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	26.6	29.7	24.8
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	324,685	197,186	798,985
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	231,011	73,784	706,396
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	154,017	764,749	282,176
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,035,011	831,030	1,471,966

回次	第37期 第2四半期連結 会計期間	第38期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	34.86	58.98

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、第37期第2四半期連結累計期間及び第37期については、四半期(当期)純損失が計上されているため記載しておりません。
4. 第37期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理をしております。
5. 第37期第2四半期連結累計期間の四半期純損失については、「資産除去債務に関する会計基準」等の適用に伴い、318,914千円増加しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動は、以下のとおりであります。

その他の事業 当社吸収合併による連結子会社3社の減少

- ・(株)アートスタッフ
- ・(株)ワオネット
- ・(株)ワオワールド

この結果、平成23年9月30日現在において、当社グループは、当社、連結子会社2社及び持分法適用関連会社2社により構成されております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスク発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が進むにつれ、個人消費において持ち直しの兆しもみられました。一方で電力供給や雇用・所得環境について厳しい状況が続いており、依然として先行き不透明な状況となっております。

当教育業界では、少子化や将来の市場を見据えた業務提携や資本提携など業界再編が進んでおります。また、各社がそれぞれ自社の強みを活かした商品開発を行うことで他社との差別化を図っており、厳しい市場獲得競争がここ数年継続しております。

このような環境のもと、当社グループでは主たる学習塾部門におきまして、地域を絞り込み、集合型教室「能開センター」及びフランチャイズ展開を含む「個別指導Axis（アクシス）」の新規開校、既存校の改装並びに人的体制の強化など、収益基盤の強化を進めてまいりました。従来に引き続き「能開センター」では授業品質の徹底管理及び商品ラインナップの見直しに、「個別指導Axis」では学習プラン提案力の向上などお客様一人ひとりのニーズへの対応の強化に、「ワオ！の家庭教師」では各県の「能開センター」「個別指導Axis」などの教室との相乗効果を図ることに注力してまいりました。なお、期首からの出校数は、直営校2校、フランチャイズ校3校の合計5校となりました。

また、当社の持つ良質な教育コンテンツをより多くのお客様に効率的に提供するため、授業映像を活用した現行の「大学受験映像講座『マイ速』」に続く、小中学生向け映像学習コンテンツの開発を進めており、この春より順次リリースを始めております。同時に、次代の教育を見据えたeラーニング事業の一環として、インターネットを介した「ワオ！のオンライン家庭教師」、「スタッド学習教室」のsmallステップ教材とデジタルペンによる在宅学習システム「ワオスタディー」などの商品開発や集客にも積極的に取り組んでまいりました。他方、旧子会社が手掛けていた、広報物の企画制作、教育専門のITソリューション事業、eラーニングの開発販売、デジタルコンテンツの企画制作につきましては、学習塾部門との連携をより密にし業容拡大を図ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高80億64百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益2億2百万円（前年同期比119.7%増）、経常利益2億13百万円（前年同期比116.5%増）、四半期純利益1億75百万円（前年同期は四半期純損失4億34百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

教育事業

当社グループにおける教育事業は、幼児から高校生を対象とする部門と社会人を対象とした部門から成り立っております。前者は、当社が運営する「能開センター」、「個別指導Axis（アクシス）」、「ワオ！の家庭教師」、フランチャイズ方式の「スタッド学習教室」及び在シンガポール現地法人が運営する「WAOシンガポール・オーチャード校」等であり、後者は、当社が運営する「WAO高等学院」等であります。

当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は76億43百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益は7億9百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

その他の事業

当社では、その他の事業として、印刷物等の企画制作、文教ソリューション事業及びエンターテインメント事業を主に行っております。これらは、当社による連結子会社3社の吸収合併により当該連結子会社から継承した事業であります。また、昭和アニメーション有限責任事業組合では、アニメーション映画の製作及び興行を行っております。

当事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は、4億21百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント損失は11百万円（前年同期はセグメント損失91百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は8億31百万円となり、前連結会計年度と比較して6億40百万円（43.5%）の減少となりました。また、前第2四半期連結累計期間と比較して2億3百万円（19.7%）の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1億97百万円（前年同期比1億27百万円の流入減）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益が2億8百万円となったこと、減価償却費、賞与引当金及び退職給付引当金の増加額等の非資金項目が1億90百万円となったこと、売上債権の減少額が1億95百万円となったこと、一方で、仕入債務及び未払金の減少額が2億61百万円となったこと、法人税等の支払額が1億51百万円となったことなどです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、73百万円（前年同期比1億57百万円の流出減）となりました。その主な要因は、有形・無形固定資産の取得による支出が1億64百万円となったこと、一方で、差入保証金の差入・回収による純収入額が1億20百万円となったことなどです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、7億64百万円（前年同期比6億10百万円の流出増）となりました。その主な要因は、短期・長期借入金の借入れ・返済による純支出額が7億10百万円となったこと、社債の償還による支出が30百万円となったこと、配当金の支払額が24百万円となったことなどです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	8,600,000	8,600,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	8,600,000	8,600,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	8,600,000	-	1,146,375	-	996,375

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
有限会社エヌシイ二十一	神戸市東灘区本山町北畑657 - 304	3,754	43.65
西澤 昭男	神戸市東灘区	851	9.90
株式会社ワオ・コーポレーション	大阪市北区中崎西2丁目6番17号	436	5.08
ワオ・コーポレーション社員持株会	大阪市北区中崎西2丁目6番17号	391	4.55
大西 雄三	大阪府吹田市	130	1.51
竹田 和平	名古屋市天白区	130	1.51
菰田 寿也	大阪市阿倍野区	110	1.28
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス信託 銀行株式会社)	東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海アイランドトリトンスクエアオ フィスタワーZ棟	107	1.24
大日本印刷株式会社	東京都新宿区市谷加賀町1丁目1 - 1	100	1.16
大橋 行輝	京都市中京区	96	1.12
計	-	6,107	71.02

(7) 【議決権の状況】
【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 436,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,159,700	81,597	-
単元未満株式	普通株式 3,500	-	-
発行済株式総数	8,600,000	-	-
総株主の議決権	-	81,597	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ワオ・コーポ レーション	大阪市北区中崎西 2丁目6番17号	436,800	-	436,800	5.08
計	-	436,800	-	436,800	5.08

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,471,966	831,030
受取手形及び売掛金	485,997	291,037
商品及び製品	231,169	138,394
仕掛品	25,704	53,493
原材料及び貯蔵品	27,064	23,619
その他	445,171	423,677
貸倒引当金	29,601	22,695
流動資産合計	2,657,472	1,738,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,615,153	1,595,032
土地	3,325,739	3,325,739
器具備品(純額)	264,070	261,598
その他(純額)	36,771	6,262
有形固定資産合計	5,241,735	5,188,632
無形固定資産	264,639	241,755
投資その他の資産		
差入保証金	1,414,732	1,310,696
その他	465,224	420,385
貸倒引当金	12,819	2,755
投資その他の資産合計	1,867,136	1,728,327
固定資産合計	7,373,511	7,158,714
資産合計	10,030,983	8,897,271
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,600	51,552
短期借入金	1,641,669	1,175,000
1年内返済予定の長期借入金	888,998	914,664
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	179,071	53,300
賞与引当金	207,140	220,243
校閉鎖損失引当金	9,488	4,621
災害損失引当金	5,118	575
資産除去債務	34,716	22,490
その他	1,256,373	892,513
流動負債合計	4,339,175	3,394,961
固定負債		
社債	150,000	120,000
長期借入金	1,900,002	1,630,670
退職給付引当金	383,466	399,003
資産除去債務	439,839	451,345
その他	330,187	261,510
固定負債合計	3,203,496	2,862,528
負債合計	7,542,671	6,257,489

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,146,375	1,146,375
資本剰余金	1,009,110	1,009,110
利益剰余金	425,892	577,153
自己株式	92,025	92,025
株主資本合計	2,489,352	2,640,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	537	224
為替換算調整勘定	1,577	1,055
その他の包括利益累計額合計	1,039	831
純資産合計	2,488,312	2,639,781
負債純資産合計	10,030,983	8,897,271

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】
【 四半期連結損益計算書 】
【 第 2 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	8,167,118	8,064,791
営業費用	6,054,227	5,979,211
営業総利益	2,112,890	2,085,579
販売費及び一般管理費	1 2,020,538	1 1,882,707
営業利益	92,352	202,872
営業外収益		
受取利息	605	481
受取配当金	175	131
持分法による投資利益	6,838	30,242
受取手数料	3,915	3,556
保険配当金	16,666	2,415
その他	10,209	7,934
営業外収益合計	38,410	44,762
営業外費用		
支払利息	32,126	33,711
その他	244	857
営業外費用合計	32,371	34,568
経常利益	98,391	213,065
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,944	-
移転補償金	11,639	-
校譲渡益	-	7,402
その他	-	3,590
特別利益合計	20,584	10,993
特別損失		
固定資産売却損	16,197	-
固定資産除却損	2,933	1,959
減損損失	19,542	-
校閉鎖損失	15,190	13,291
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	307,969	-
出資金評価損	17,690	-
特別損失合計	379,524	15,251
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	260,549	208,807
法人税、住民税及び事業税	74,341	30,165
法人税等調整額	99,652	2,891
法人税等合計	173,994	33,056
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	434,544	175,750
四半期純利益又は四半期純損失 ()	434,544	175,750

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	434,544	175,750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	822	313
為替換算調整勘定	253	521
その他の包括利益合計	1,075	208
四半期包括利益	435,619	175,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	435,619	175,958
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	260,549	208,807
減価償却費	209,989	211,228
出資金償却費	72,622	-
減損損失	19,542	-
出資金評価損	17,690	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,908	16,999
賞与引当金の増減額(は減少)	8,030	13,103
校閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	6,231	4,867
退職給付引当金の増減額(は減少)	19,736	15,536
受取利息及び受取配当金	780	612
支払利息	32,126	33,711
持分法による投資損益(は益)	6,838	30,242
固定資産売却損益(は益)	16,197	-
固定資産除却損	4,545	1,959
校閉鎖損失	3,138	7,742
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	307,969	-
校譲渡益	-	7,402
売上債権の増減額(は増加)	249,578	195,022
たな卸資産の増減額(は増加)	75,614	68,431
前受授業料等収入の増減額(は減少)	18,757	30,587
仕入債務の増減額(は減少)	139,349	5,047
未払金の増減額(は減少)	217,398	256,852
その他	38,547	21,838
小計	349,885	381,093
利息及び配当金の受取額	1,280	1,112
利息の支払額	30,802	33,446
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	4,322	151,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,685	197,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	189,481	148,351
有形固定資産の売却による収入	6,580	-
無形固定資産の取得による支出	57,109	16,568
差入保証金の差入による支出	34,106	22,796
差入保証金の回収による収入	40,390	143,259
校譲渡による収入	-	6,317
資産除去債務履行による支出	4,251	39,139
その他	6,967	3,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	231,011	73,784

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	800,000	900,000
短期借入金の返済による支出	1,008,333	1,366,669
長期借入れによる収入	500,000	200,000
長期借入金の返済による支出	370,000	443,666
社債の償還による支出	50,000	30,000
長期未払金の返済による支出	1,307	-
自己株式の取得による支出	15	-
配当金の支払額	24,360	24,414
財務活動によるキャッシュ・フロー	154,017	764,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	411
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	60,438	640,936
現金及び現金同等物の期首残高	1,095,450	1,471,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,035,011	831,030

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度に連結子会社であった株式会社アートスタッフ、株式会社ワオネット及び株式会社ワオワールドは、平成23年4月1日付にて当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
	<p>1 偶発債務 債務保証</p> <p>一部の賃借物件の保証金について当社、貸主及び金融機関との間で代預託契約を結んでおります。当該契約に基づき、金融機関は貸主に対して保証金相当額を預託しており、当社は貸主が金融機関に対して負う当該預託金の返還債務40,809千円を保証しております。</p>

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																				
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">98,140千円</td> </tr> <tr> <td>給料手当</td> <td style="text-align: right;">416,899</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">574,776</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td style="text-align: right;">287,292</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">40,037</td> </tr> </table> <p>2 当社グループの第2四半期(6ヶ月)の業績は、第2四半期会計期間(3ヶ月)の業績において他の四半期に比べて最も利益が計上され、その結果、第1四半期会計期間に計上した営業損失及び経常損失がそれぞれ改善し、利益に転じる傾向にあります。</p>	減価償却費	98,140千円	給料手当	416,899	広告宣伝費	574,776	支払手数料	287,292	賞与引当金繰入額	40,037	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">72,639千円</td> </tr> <tr> <td>給料手当</td> <td style="text-align: right;">434,170</td> </tr> <tr> <td>広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">575,886</td> </tr> <tr> <td>支払手数料</td> <td style="text-align: right;">165,040</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">55,413</td> </tr> </table> <p>2 同左</p>	減価償却費	72,639千円	給料手当	434,170	広告宣伝費	575,886	支払手数料	165,040	賞与引当金繰入額	55,413
減価償却費	98,140千円																				
給料手当	416,899																				
広告宣伝費	574,776																				
支払手数料	287,292																				
賞与引当金繰入額	40,037																				
減価償却費	72,639千円																				
給料手当	434,170																				
広告宣伝費	575,886																				
支払手数料	165,040																				
賞与引当金繰入額	55,413																				

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)								
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">1,035,011千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">1,035,011</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	1,035,011千円	現金及び現金同等物	1,035,011	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">831,030千円</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">831,030</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	831,030千円	現金及び現金同等物	831,030
現金及び預金勘定	1,035,011千円								
現金及び現金同等物	1,035,011								
現金及び預金勘定	831,030千円								
現金及び現金同等物	831,030								

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	24,489	3.0	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	24,489	3.0	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	24,489	3.0	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	教育事業 (千円)	その他の事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客に対する売上高	7,705,495	461,622	8,167,118	-	8,167,118
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,814	158,476	163,291	163,291	-
計	7,710,309	620,099	8,330,409	163,291	8,167,118
セグメント利益又はセグメント 損失()	818,375	91,525	726,850	634,497	92,352

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額 634,497千円には、セグメント間消去15,177千円及び各報告セグメントに配分されない全社費用 649,675千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	教育事業 (千円)	その他の事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客に対する売上高	7,643,027	421,763	8,064,791	-	8,064,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,643,027	421,763	8,064,791	-	8,064,791
セグメント利益又はセグメント 損失()	709,152	11,116	698,035	495,163	202,872

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額 495,163千円には、セグメント間消去984千円及び各報告セグメントに配分されない全社費用 496,147千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	53円23銭	21円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	434,544	175,750
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	434,544	175,750
普通株式の期中平均株式数(株)	8,163,283	8,163,172

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、前第2四半期連結累計期間については四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額.....24,489千円
- (ロ) 1株当たりの金額..... 3円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月9日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月14日

株式会社ワオ・コーポレーション
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉田 純 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 古藤 智弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワオ・コーポレーションの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワオ・コーポレーション及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。